

インフラ整備の伸展が企業立地を促進～全国初の都市圏専道環状ネットワークが完成～

- 仙台北部道路の開通により、一周約60kmの自専道による環状道路となり、都市圏の外郭を囲む自動車専用道路としては、全国の政令指定都市圏で初めての完成。
- 都市圏自専道環状ネットワークの形成により、仙台北部中核工業団地群など宮城県内への企業誘致・企業進出を後押ししている。
- 仙台北部道路の開通により、交通が転換し、国道4号バイパスなどの周辺道路で交通量が減少。

【位置図】



仙台北部道路
(富谷JCT
～利府しらかし台IC)



仙台都市圏への企業集積を支援

- ◆ 仙台都市圏環状ネットワークが形成され、仙台北部中核工業団地群へ自動車産業等の企業集積がすすんでいる。

国道4号バイパスなど周辺道路で交通量が減少

- ◆ 仙台北部道路が開通したことにより、並行する（主）塩釜吉岡線及び国道4号仙台バイパスの交通量が減少しており、仙台北部道路へ交通が転換。

仙台北部道路が様々な物流に利用

①仙台北部道路利用で、コスト削減！

仙台北部道路を利用することにより、輸送時間が短縮し、ドライバーの労働時間が短縮したため、人件費の縮減が可能になりました。 出典：A社（食品運送業）ヒアリング調査

②高速道路利用で、定時性が向上！

仙台北部道路開通後は、混雑に巻き込まれることがなくなり、配送時間が読めるようになってとても助かっています。

出典：B社（液化ガス運送業）ヒアリング調査